

1 研究主題

主体的・対話的な学びを生むICT機器の活用

2 はじめに

本研究会では、「ICT機器を活用した教育実践」をテーマに、ICT機器の活用実践や先進的な取り組みの紹介を行いながら、「分かる授業」「魅力ある授業」の実現を目指して研究を進めている。

さて、現在の教育とICTのかかわり方であるが、平成29・30年改訂の新学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、「どのように学ぶか」を重視することが求められており、これを実現するため、効果的なICT機器の活用が求められている。

また、文部科学省が打ち出した小中学校の児童生徒全員に一人一台の教育用パソコンを整備する「GIGAスクール構想」も進んでおり、本研究会には、小牧市が進める「学び合う学び」の中でどのようにICT機器を有効活用していくかを模索していく役割がある。児童の学びを深めるために、どのようにICT機器を活用していくと良いのか、授業実践を重ねていくことでよりよいICT機器の活用のあり方を求めていきたいと考え、今後も研究を継続していく。

3 研究経過

研究テーマに沿って、各部員の勤務校において実践・研究を進めた。

4 研究の概要

新型コロナウイルス感染拡大防止のため教育研究活動を行わなかった。来年度は、感染対策を実施した上で教育研究活動を実施し、本年度の取り組みに加え、来年度に取り組んだ成果も併せて報告したい。

5 実践を振り返って

教育の情報化がどれだけ進んでも、それを土台に授業をするのは教師自身である。だからこそ、ICT機器が効果的に働く授業場면을研究し、授業のどのタイミングでそれらを活用するか、という授業設計が重要である。ICT機器活用の場面を見極める感覚を磨き、日常の授業の中で気軽にICT機器を活用していくことが我々には求められている。

導入されたICT機器を子どもたち同士が考えを伝え合ったり、つなげ合ったりする「学び合う学びのツール」として活用できるように、本研究会でもさらなる研鑽に努めていきたい。